

学ぼう！災害のリスク

身の回りの様々な災害のリスクを知ることが、身を守るための第一歩です。裏面のハザードマップや神戸市情報マップ(WEB)で自宅や職場周辺のリスクを事前に確認しておきましょう。

ため池の決壊

老朽化したため池は、大雨や地震により決壊する恐れがあります。万が一決壊すると、下流の家屋や公共施設等に被害を及ぼす恐れのあるため池を「特定ため池」として指定しています。



特定ため池マップ (神戸市情報マップ)
特定ため池の名称や所在地が確認できます。

兵庫県CGハザードマップ

特定ため池の浸水想定区域が確認できます。



万が一の決壊に備え、自宅付近の「特定ため池」を把握しておこう！

高潮による浸水

台風など、発達した低気圧が近づくと海面水位が異常に高くなる場合があります。沿岸部の状況は、神戸港防災ポータルサイトで確認できます。



神戸港防災ポータルサイト
沿岸の現況映像や防潮鉄扉の開閉状況をリアルタイムで配信。



台風の際は、海岸付近には近づかないようにしましょう。

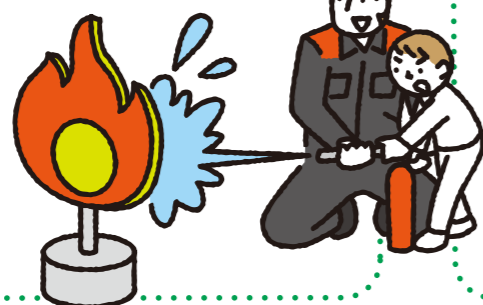
遠隔操作で
防潮鉄扉を閉鎖！

防災訓練などに積極的に参加しよう！

それぞれの地域ごとに備える災害は違います。地域で行われる訓練には積極的に参加するようにしよう。普段から見守りや声掛けを通じて、顔の見える関係を築きましょう。



地域における要援護者支援の取組み



地震・津波

明日かもしれない、南海トラフ巨大地震

約100~150年の周期で発生している南海トラフ地震。近い将来、発生する可能性が高く、非常に大きな被害が想定されています。



巨大地震直後は、津波の情報も確認

大津波・津波警報が発表されたら、津波を想定した避難行動を！



高さ1m以上の津波到達までの時間は最速で約80分と予想されています。

津波が発生するかどうかで避難行動が変わります！正確な最新の情報を確認しよう！

土砂災害 (がけ崩れ、土石流、地すべり)

土砂災害の恐れのあるエリアを「土砂災害警戒区域」(イエローゾーン)、その中で建築物に損壊を与えやすい危害が生じる恐れのあるエリアを「土砂災害特別警戒区域」(レッドゾーン)としています。



土砂災害・水害ハザードマップ

ハザードマップで自宅の危険性を確認してください。神戸市情報マップでも、同じ情報を見ることができます。

エリア内の方は、避難情報を確認して、早めの避難を心がけよう！



浸水

洪水

河川の水があふれたり、堤防が壊れたりして、浸水することです。神戸市河川モニタリングカメラで川の状況をリアルタイムで確認できます。



神戸市河川モニタリングカメラ
神戸市内の22河川(30カ所)の現況映像をリアルタイムで配信。

大雨時には、川に近づかないように！



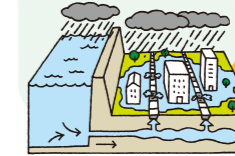
内水はん濫

大雨が降った時に、海や川に雨水を排水することができず、道路側溝やマンホールから雨水が噴き出して、浸水することです。



浸水から街を守る

浸水しているところには、近づかないようにしましょう。



神戸市の取組み

高潮・津波の対策

過去最大級の台風による高潮や「100年に一度」の確率で発生する津波への対策は完了しています。



高潮対策



100年に一度の津波対策



雨水ポンプ場の整備

地盤の低い地域では、高潮時の浸水を防ぐため、雨水を強制的に海や川に流す雨水ポンプ場を整備しています。

